

平成 21 年度

比企の川づくり協議会 総会資料

	(ページ)
1. 平成 20 年度 事業報告 <del>(案)</del> . . . . .	1
2. 平成 20 年度 決算報告 <del>(案)</del> . . . . .	6
3. 平成 21 年度 事業計画 <del>(案)</del> . . . . .	7
4. 平成 21 年度 予算 <del>(案)</del> . . . . .	10

平成 21 年 4 月 11 日

滑川町エコミュージアムセンター セミナールームにて

# 1. 平成 20 (2008) 年度 事業報告(案)

(2008. 4/1~2009. 3/31)

## 1.1 活動方針 (H20 年度総会資料)

平成 20 年度は、以下を方針として活動を行っていく。

- ① 『市野川水辺空間整備事業 (市野川[羽尾])』は、モニタリング体制構築、地元主体の活動への支援等、埼玉県における住民主導型川づくりのモデルを目指し、引き続き、地元、専門家、県・町等と連携して取り組んでいく。
- ② 『砂防事業』は比企流域の重点テーマとして、地元、町等とも連携して取り組んでいく。
- ③ 『河川見学会』、『比企流域懇談会』の定例イベントを開催する。なお、開催にあたっては、適宜、上記取り組み等と関連付けて開催することで、有機的な活動を行っていく。
- ④ 比企流域で開催される『川遊びイベント等』には、可能な範囲で積極的に参加協力し、このような活動を推進していく。
- ⑤ 『当協議会のホームページ』を段階的に充実していく。
- ⑥ HP 等を有効活用することで会員拡大に努め、日常的な活動経費は自立化を目指す。

## 1.2 事業実績

### (1) 溪流砂防事業

2008 年

- 4 月 26 日 (土) 慈光寺川・以後ヶ谷見学 (総会終了後)
- 6 月 15 日 運営会議、正法寺川 見学
- 7 月 5 日 (土) 河川見学会、テーマ：溪流砂防、ときがわ町以後ヶ谷・慈光寺川
- 10 月 19 日 (土) 以後ヶ谷現地協議、運営会議
- 12 月 28 日 (日) 運営会議 (ときがわ町ポッポの木)

2009 年

- 1 月 8 日 (木) 運営会議 (県土打合せ前後、東松山ウオーキングセンター、県土事務所)
- 2 月 1 日 (土) 運営会議 (ときがわ町ポッポの木)
- 2 月 21 日 (土) FM 砂防事業住民説明 & 意見交換会、ときがわ町後野川地区砂防事業

### (2) 市野川[羽尾]関係

2008 年

- 6 月 7 日 (土) 河川環境モニタリング学習会、講師：(独) 自然共生研究センター 萱場 伸一 長
- 6 月 22 日 (日) 川あそび実行委員会 参加
- 7 月 13 日 (日) モニタリング用 BM 設置
- 7 月 21 日 (祝) 川あそび実行委員会 参加
- 7 月 27 日 (日) 川あそび開催。協力
- 8 月 10 日 (日) モニタリング調査実施 (第 1 回)
- (8 月 30 日 (土) モニタリング調査 ⇒ 増水により中止)
- (9 月 23 日 (祝) モニタリング調査 ⇒ 増水により中止)
- 9 月 27・28 日 第 1 回 いい川・いい川づくりワークショップ 発表
- 11 月 2 日 (日) モニタリング調査実施 (第 2 回)

- 11月16日(日) 第4回 川の日ワークショップ関東大会 発表(市野川水系の会)
  - 11月22日(土) 市野川クリーンエイド in 羽尾(第3回)
  - 11月25日(火) 市野川協議会(第9回)、羽尾集会場 テーマ: B区間入口の堰処理
- 2009年
- 2月21日(土) AM 事業住民説明&意見交換会(羽尾集会場)

(3) 市野川[松山城跡]関係

2008年

- 11月15日(土) ふれあい市野川クリーンアップ作戦(第5回)、吉見百穴前

2009年

- 1月17日(土) 第7回比企流域懇談会(県土整備事務所)、  
テーマ: 市野川(東松山城跡周辺) 河川整備事業への住民参加

(4) 埼玉県東松山県土整備事務所との打合せ

2008年

- 4月15日(火) 東松山県土整備事務所 打合せ(第1回)、テーマ: 顔合わせ
- 5月15日(木) 東松山県土整備事務所 打合せ(第2回)
- 6月26日(木) 東松山県土整備事務所 打合せ(第3回)
- 7月18日(金) 東松山県土整備事務所 打合せ(第4回)
- 9月30日(火) 東松山県土整備事務所 打合せ(第5回)、テーマ: 過去の共有化
- 10月16日(土) 東松山県土整備事務所 打合せ(第6回)
- 11月25日(火) 東松山県土整備事務所 打合せ(第7回)、テーマ: 砂防
- 12月16日(火) 東松山県土整備事務所 打合せ(第8回)、テーマ: 砂防

2009年

- 1月8日(木) 東松山県土整備事務所 打合せ(第9回)、テーマ: 砂防

(5) 川あそび支援

2008年

- 6月15日(日) 市野川(東松山市市の川小前) 主催: 市の川・こどもエコクラブ
- 8月2日(土) 都幾川で川あそび(ときがわ町玉川小前)、主催: もりんど
- 8月8日(金) 都幾川(東松山市鞍掛橋) 河童会議 主催: 東松山市・パートナー団体

(6) その他

2008年

- 4月26日(土) 平成20年度総会(建具会館)

### 1.3 総括(案)

(1) 東松山県土整備事務所との連携

県土整備事務所側は、昨年の4月1日付けで多くの職員が異動となった。

この1年間で9回の定例会議、モニタリング学習会、河川見学会、比企流域懇談会、川あそびイベント、市野川クリーンアップ 市野川協議会 住民説明会(2地区)など、多くの時間と労力を快く割いていただいたことに深く感謝したい。

お互いの組織特性、協働の歴史、個人的な性格を含め、事務所職員と協議会メンバーとの相

互理解が深まったように思う。これからがいよいよ真の協働のスタートである。

## (2) 溪流砂防事業

長年の課題であった砂防事業（土石流対策）についての全体計画と事業実施順についての住民への説明について、東松山県土整備事務所の理解の下、実現した。砂防事業計画の地元への情報開示との面で大きな進歩であり、東松山県土整備事務所に深く感謝したい。

今回説明された後野川地区の砂防事業は、総事業費7.8億円、保全対象は民家25戸（一戸あたり約3千万円）などである。事業の受益者が限定的であり、また山地の目立たないところでの工事であることから、説明会への地元からの参加人数は数名であった。

しかし、砂防事業は高額な税金が投入されていること、自然環境や景観への影響が大きいことから、今後も事業に注視し、市民意見の反映に向けて努めていく必要がある。

そのためには、まず、当協議会が地元（住民と行政）に認知されること、現状の環境をよく調べ科学的データを蓄積すること、砂防事業について基礎知識を高めること、整備事務所と率直によく話し合うことなどの地道な活動を積み重ねていくことで、よりよい砂防事業を目指していきたい。

## (3) 市野川[羽尾]

### ① 県職員の異動

今年度の4月1日付で当事業担当の部長、課長、主任の全員が異動する事態に直面した。書類だけでは引き継げない事項が多々有り、信頼関係はもとよりこれまで積み重ねてきた多くの議論が一旦リセットされる事態に陥った。が、この1年間、打ち合わせを密に行ったことで、相互理解はだいぶ深まったように思う。

### ② モニタリング体制の構築

[実施体制]

2WAY方式で整備したB区間の河川環境の変化（瀬・淵構造等の微地形の変化）を評価するためのモニタリング調査について、（独）自然共生研究センター・萱場センター長による学習会（現地実習）、BM（測定の基準点）設置・水準測量、水位計の設置（洪水水位観測用）、県土整備事務所による測量機材貸与と当協議会の測量士メンバーをリーダーとする市民による測量実施など、モニタリング調査を着手することができ、B区間を中心とする現況地形（初期地形）を把握・図化することができた。

[結果の評価方法]

モニタリング結果の評価と上流側の整備への反映の仕方について、第9回市野川協議会にて協議した。土砂堆積の変化状況を定量的に把握することが基本と考えられたが、結果の評価の仕方について、専門家の指導を頂き、河川管理者と市民とで共有化していく必要があることが確認された。

### ③ 地元の活動体制

これまで共に活動してきた地元メンバーが中心となり、昨年春、滑川町内の市野川水系をテーマとする「市野川水系の会 イン 滑川町」が結成された。今後に期待したい。

### ④ 住民説明会の開催

1年前の市野川シンポジウムで課題となった河川工事に関するこれまでの経過と今後の予定について、1年後の今年2月、ようやく住民説明会が開催できた。

参加人数は少なかったが、県土・滑川町・区長・住民・協議会メンバーで、今後の川のあり方などについて、いい雰囲気です話し合いを行なうことができた。今後につなげて行きたい。

#### (4) 市野川[松山城跡周辺]

東松山市と吉見町の境界を流れる松山城跡周辺の市野川で70年振りの大規模河川改修がスタートした。早速、当協議会運営委員であり事業地の近隣住民である渡辺氏が、河川整備に対応すべく「松山城跡周辺の市野川を再生する会」を立ち上げた。

当協議会では「本事業への住民参加」を第7回流域懇談会のテーマとし、東松山市、吉見町住民に広報紙等で呼びかけ開催した。当地区の河川事業をテーマとした、東松山市・吉見町住民が始めて一緒に話し合う機会となった。

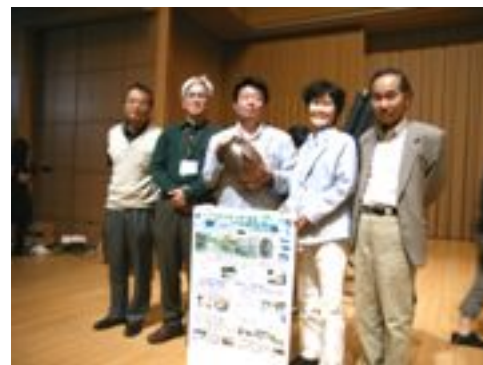
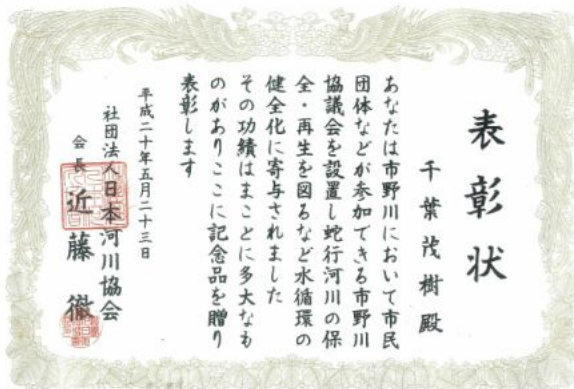
意見交換は限られた時間であったが、かつてのシジミが生息する河川環境の再生や伝説の「龍の枕石」など、今後に向けた示唆に富む意見が多々だされた。今後につなげて行きたい。

#### (5) HP開設（情報発信）

昨年の市野川シンポジウムがきっかけとなり、当協議会のホームページ（HP）開設協力の申し出があり、HPがスタートした。活動予定、記録など、わずか1年間で充実した内容となった。HP管理者のご尽力に感謝したい。

#### (6) 賞罰・発表など

- ・ 5月23日 日本河川協会 河川功労者表彰（市野川協議会等/千葉茂樹）
- ・ 9月27日～28日 第1回 いい川・いい川づくりワークショップ 準グランプリ賞
- ・ 11月16日 第4回 川の日ワークショップ関東大会 第3位（市野川水系の会）



大勢の市民・専門家・行政（県・町）等、皆で力を合わせて取組んだ成果です。

いい川・いい川づくりワークショップ受賞記念撮影

### 松山城跡下流の 河川改修で意見交換

比企流域懇談会

## 東松山

川に関心のある市民や行政などを集めた「比企流域懇談会」が、東松山市の東松山県土整備事務所で開かれた。「比企の川づくり協議会」の主催。懇談会は二〇〇〇(平成十二)年度から開いており今回で第七回。同整備事務所管内の河川整備を住民参加で実現するのが目的。定期の開催ではなく必要に応じて開かれている。



多彩な意見交換が行われた「比企流域懇談会」。東松山県土整備事務所

今回は、国指定史跡の松山城跡下流の流域能力の拡大を目的に大規模に河川を拡幅して土手を吉見町側に寄せることに対し、住民参加で多自然河川に整備していくことが始まった。

懇談会では、県土整備事務所から、河川整備と河川改修に伴うまちづくりについて説明があり、東松山市と吉見町の担当者が「市野川周辺のまちづくり計画」を発表した。

また、これからの川づくりを考えよつと「治水の経過と最新動向」と題して比企の川づくり協議会が発表。「市野川川づくり市民提案」を松山城跡周辺の市野川を再生する会が、「松山城跡と市野川―市民要望」として松山城跡保存会が、それぞれ発表を行った。

その後の公開討論では、「行政、市民が協力して多自然河川をできるだけ取り入れ、整備していく」「昭和三十年ころにはシジミが捕れた。そのころの川になったら」などの意見や「松山城落城時のお姫様にゆかりのある巨岩はどこに行ったのか」など、多彩な意見交換・話し合いが行われた。(山本豊実)

## 2. 平成 20 (2008) 年度 決算報告 (案)

### 2008 (平成20) 年度 比企の川づくり協議会決算報告書 (案)

#### <収入>

(単位:円)

項目	決算額	備考
1. 前年度繰越金	-7987	
2. 年会費	19,000	現金1,000円×15名. 振込1,000円×4名
3. 参加費	22,500	500円×45名
4. 雑収入	34,000	寄付(5名)
収入合計(A)	67,513	

#### <支出>

項目	決算額	備考
1. 事務費(資料作成・他)	33,172	コピー、消耗品、事務局経費(1000円×12ヶ月)
2. 通信費	13,275	はがき、切手、宅配便代
3. 傷害保険掛け金	2,000	1000円×2回
4. 雑支出	8,978	測量資材、他
支出合計(B)	57,425	

#### <差引残高>

項目	決算額	備考
差引残金(A-B)	10,088	

差引残金(A-B) 10,088円は、次年度に繰り越します

上記の通り、報告いたします。

2009年4月11日

会計 山本 悦男

### 3. 平成 21 (2009) 年度 事業計画 (案)

#### 3.1 活動方針案

##### (1) 溪流砂防事業 地元と連携した生き物調査の開始

- ・ 当協議会が地元(住民・行政)に認知されなければ、円滑な協議は進まないことから、地元学童グループ等とタイアップして、砂防事業実施箇所である以後ヶ谷、慈光寺川などの生き物調査をスタート。地元の子ども達との自然体験、交流 現況把握とデータ蓄積を図る。

##### (2) 市野川[羽尾] 地元主導へ

###### ① 河川環境モニタリング調査

- ・ 河川整備基金への助成が確定したことから、この機会にモニタリング用機材の整備と(独)自然共生研究センター様から技術指導をいただき技術の習得を図る。
- ・ 河川環境モニタリングを継続し、データを蓄積する。
- ・ 自然共生研究センター様のご指導をいただき、2WAY区間のモニタリング結果の評価及び整備計画への反映の仕方について明確化し、河川管理者と共有化していく。

###### ② 川とのふれあい活動 支援

- ・ 昨年、地元中心で設立された「市野川水系の会」をサポートする形で、川あそび活動等、地元での川とのふれあい活動を支援していく。

##### (3) 市野川[松山城跡周辺] 多自然川づくり推進 地元での体制づくり

- ・ 比企流域における「多自然川づくり」の先導事業と位置付け、仕組みの構築を目指す。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 当地区の河川整備計画について、第7回懇談会で県土から「関係機関や地域と連携・協力し、水辺に親しめる河川整備を行う。」「瀬と淵の創出」「生態系に配慮した多自然川づくり」との方針が示された。</li><li>・ この方針に賛同するものの、実現に向けた具体的な方法論が示されていないため、当協議会から実現に向けた体制構築を主導的に提案していく。</li></ul> |
|---|

- ・ 地元の活動を盛り上げるための魚捕り調査などのイベントを、地元「再生の会」等と協働で開始する。

##### (4) 河川砂防事業全体

- ・ 「工事が始まって始めて工事実施を知った。」という事例が非常に多く寄せられているため、比企管内の河川砂防事業全体の流域住民への説明と意見交換の機会を確保していく。

##### (5) HP 管理

- ・ HP 著作権、肖像権などの法規制のルールを学習・共有化し、法令順守を徹底する。
- ・ 継続できるよう、省力化に努め、皆でフォローしていく。



- (6) 武蔵漁業協同組合
- ・ 比企流域における魚類資源管理の大家であり、連携を模索したい。

### 3.2 事業計画案

- (1) 市野川[松山城跡周辺] 意見書の提示
- ・ 住民と専門家で構成する検討会設置を意見書（P11 参照）として提示する。
- (2) 河川見学会（第 9 回） 主催（県土への提案内容）
- ・ 日 時：7 月 4 日（土）AM
  - ・ テーマ：市野川 [松山城跡周辺]
  - ・ 内 容：事業計画説明、意見交換
- (3) 比企流域懇談会（第 8 回） 主催（県土への提案内容）
- ・ テーマ：平成 21 年度 比企管内の河川砂防・川の再生事業計画説明 & 意見交換会
  - ・ 日 時：平成 21 年 5～6 月頃？
  - ・ 内 容：河川砂防事業計画及び川の再生事業の説明、市民活動紹介、意見交換
  - ・ ねらい：行政（河川管理者）と市民での情報の共有化と相互理解
  - ・ 来年度以降は、事務所主催での開催を提案。
- (4) ふれあい市野川クリーンアップ作戦（第 6 回） 参加協力（実行委員会への提案内容）
- ・ 河川清掃中心の活動から、地域交流（川祭り）への転換に向け、実行委員会に対し、内容の段階的な充実化を提案する。
  - ・ 有志で、先行事例視察（越戸川（和光市）、黒目川（朝霞市））を視察したい。
- (5) 県土との定例打合せ 主な議題
- ① 市野川[羽尾]：アクセス、除草エリア、田んぼとのつながり、B 区間堰、モニタリング、又五郎合流部処理、羽平橋上流の堆積土砂、検討体制
  - ② 市野川[松山]：検討体制構築
  - ③ 砂防事業：慈光寺川、後野川
  - ④ 管内事業全体：住民説明機会の確保、その他
- (6) 市野川[羽尾] モニタリング&「多自然川づくり」 技術研修会
- 訪問先：(独) 自然共生研究センター（岐阜県）
- 日 程： (1 泊 2 日)
- (7) 第 2 回 市野川シンポジウム 主催（サイサン環境保全基金 助成事業）
- テーマ：治水と環境（埼玉県河川整備に関する有識者提言 等）
- 日 程：
- (8) 荒川流域再生プロジェクト 菅間堰（入間川水系） アユ遡上作戦 協力
- ・ 菅間堰は、都幾川・越辺川へのアユの入口であることから、当プロジェクトに積極的に関わって行く。
  - ・ 都幾川等へのアユ復活に向けた機運を盛り上げるべく、追跡調査など、流域の市民団体等に呼びかけながら活動を進めていく。
  - ・ 追跡調査日程：

(9) イベント サポート・紹介

- ・ 4/4 (土) 以後ヶ谷 生き物調べ&探検/学童等と協働 (終了)
- ・ 6/21 (日) 市野川 川の生き物調べ (市の川小前) /主催:市の川・こども工房 協力
- ・ 7/19 (土) 市野川 川あそび (第2回) (羽尾) /主催:市野川水系の会 協力
- ・ 7/25 (土) 越刃川/主催:児沢探検隊 紹介
- ・ 8/1 (土) 都幾川で遊ぼう! (玉川小前) /主催:もりんど 協力
- ・ 8/下旬 都幾川 河童会議 (丸木美術館周辺) /主催:東松山市・パートナー団体 紹介
- ・ 未定 :市野川 (松山城跡周辺) /市野川を再生する会と協働
- ・ 未定 :慈光寺川/学童等と協働
- ・ 未確認 都幾川/ときがわ町:魚捕りイベント 紹介

(10) 武蔵漁業協同組合との連携 (提案)

- ・ 市民の立場で魚類資源の増殖に協力すべく、当協議会が漁業協同組合員 (二種) への市民側の加入窓口役として組合員の加入を促進していきたい。

#### 4. 平成 21 (2009) 年度 予算案

##### 2009 (平成21) 年度 比企の川づくり協議会 一般会計予算書(案)

###### <収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1. 前年度繰越金	10,088	
2. 年会費	25,000	1,000円×25名
3. 参加費	15,000	500円×30名
4. 雑収入	5,000	寄付
収入合計(A)	<b>55,088</b>	

###### <支出>

項目	予算額	備考
1. 事務費(資料作成・他)	30,000	用紙、コピー、事務局経費(1,000円×12ヶ月)等
2. 通信費	13,000	はがき、切手、宅配便代等
3. 傷害保険代	2,000	1,000円×2回
4. 雑支出	10,088	資材費等
支出合計(B)	<b>55,088</b>	

###### <差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	<b>0</b>	

上記の通り提案致します。

2009年4月11日 会計 山本悦男

平成21(2009)年度 比企の川づくり協議会 特別会計予算書(案)

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1. 河川整備基金助成金	800,000	市野川 市民による順応的事業 (2WAY方式のモニタリング)
2. サイサン環境保全基金	105,000	第2回市野川シンポジウム
収入合計(A)	905,000	

<支出>

項目	予算額	備考
1. 河川整備基金助成金	800,000	
2. サイサン環境保全基金	105,000	
支出合計(B)	905,000	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	-	

上記の通り提案致します。

2009年4月11日